

- 令和6年度に判明した想定外の地中障害物撤去対応により、地中連続壁工(SMW)の工程に遅れが生じたことから、**工期内(令和9年度)の完了が厳しい状況**となっていることは、令和8年2月25日のまちづくり環境委員会で報告したとおりである。
- その後、工事受注者からの提案により複数の土質調査を実施した結果、**盤ぶくれが発生する可能性**があることが判明したため、**更なる工程の延伸を要するもの**、本格的な掘削を行う前に**地盤改良による対策工事を実施**※2していきたいと考えている。

1 工事概要

JR蒲田駅東口駅前広場の地下に約2,800台収容可能な自転車駐車場の整備を行い、自転車利用環境の向上と放置自転車の低減を目指します。

工 期：令和5年12月8日から令和10年3月15日

受 注 者：不動テトラ・吉田・池上建設工事共同企業体

既 定 ￥8,888,000,000－(税込)

第1回変更 ￥9,147,023,600－(税込) 変更契約日：令和6年12月26日

第2回変更 ￥9,300,237,100－(税込) 変更契約日：令和8年1月7日

増 減 ￥412,237,100－(税込) ※令和8年第1回定例会にて専決報告。

2 工事の進捗状況

◎工事全体の進捗率：約20%(令和8年5月末現在)。

- 地下に自転車駐車場を作るため、仮設工として地中連続壁工(SMW)や路面覆工等を設置する工事を進めている。
- SMWの築造(令和6年9月開始)は、令和8年5月26日に全421本を完了。
- 令和8年3月5日夜間に作業帯の切替(STEP6)を行い、車両動線の変更及び区道の一部通行止めを実施。(次回切替は令和8年8月末予定)

4 施工ステップ(案)

現在

STEP6 仮設工
令和8年3月5日～令和8年8月末頃

STEP6-A 仮設工・盤ぶくれ対策工
令和8年8月末～令和8年11月末頃

STEP7-A 盤ぶくれ対策工
令和8年11月末～令和9年2月中旬頃

STEP7-B 盤ぶくれ対策工
令和9年2月中旬～令和9年5月末頃

STEP7 掘削工
令和9年5月末頃～

凡 例

工事作業帯

3 工事スケジュール(今後の予定)

- 1期工事の延伸に伴い、2期工事と駅前広場工事の整備スケジュールの調整を図っていく。
- 工事はSMWや路面覆工等が終わり次第盤ぶくれ対策工を行い、その後本格的に掘削工を進め、令和9年度下期より躯体構築に着手予定。

施設	年度	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年以降
当初		123456			78910	2期工事★			暫定駅前広場工事	
2月報告		123456		7		2期工事★ 暫定駅前広場工事				
今回変更(案)		123456	6-A	7-A	7-B	7	8910	2期工事★ 暫定駅前広場工事		

※①～⑩：駅前広場の動線が変わる時期(予定)

現時点での想定であり、今後スケジュールに変更が生じる可能性があります。

1期工事については、当初の令和9年度末完了から令和11年度中の完了を目指す。

※1 盤ぶくれとは

盤ぶくれとは、地下にある粘土層などの水を通しにくい層(不透水層)が、地下水の水圧により押し上げられる現象である。掘削を行うと、元々かかっていた土の荷重が失われる。その結果、不透水層を押し上げる地下水の水圧(上向きの力)が掘削面の土の荷重(下向きの力)を上回ること掘削底面の盛り上がり(盤ぶくれ)が生じる。これにより、土留壁の安定性に大きな影響を与える。

盤ぶくれイメージ図

※2 盤ぶくれ対策工(地盤改良)

盤ぶくれ対策工として、盤ぶくれの要因となり得る高い地下水位を有する砂質土層に地盤改良を行い、土留壁の内側と周辺の地下水を遮断する。

盤ぶくれ対策工(地盤改良)イメージ図